【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【公開番号】特開2005-228419(P2005-228419A)
【公開日】平成17年8月25日(2005.8.25)
【年通号数】公開・登録公報2005-033
【出願番号】特願2004-36812(P2004-36812)
【国際特許分類】
Ｇ１１Ｂ　20/14　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　20/10　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　20/12　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/26　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/7826　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１１Ｂ　20/14　３５１Ｚ
Ｇ１１Ｂ　20/10　Ｂ
Ｇ１１Ｂ　20/10　３２１Ｚ
Ｇ１１Ｂ　20/12
Ｈ０４Ｎ　7/13　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　5/782　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成19年1月23日(2007.1.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
テープ状記録媒体上に形成された複数のトラックより、それぞれ所定量の情報データと同期データからなる複数の同期ブロックから構成されるメインデータと前記トラックに関するインサートトラック情報とを再生する装置であって、
前記複数のトラックにおけるインサートトラック情報エリアから、それぞれ前記インサートトラック情報エリア内におけるブロック位置を示す位置データを含む複数のスタートシンクブロックから構成されるインサートトラック情報を再生すると共に、前記インサートトラック情報エリアに引き続くメインエリアから前記メインデータを再生する再生手段と、
前記メインデータ中の前記同期データを検出する同期検出手段と、
前記インサートトラック情報における前記スタートシンクブロックを検出し、前記検出したスタートシンクブロックのブロック位置に基づいて検出信号を出力するトラック情報検出手段と、
前記トラック情報検出手段から出力された検出信号に基づいて前記同期検出手段の検出動作を制御する制御手段とを備える再生装置。
【請求項２】
前記同期検出手段は前記メインデータと前記同期データに対応したデータパターンを持つパターンデータとを比較し、前記メインデータが前記パターンデータに一致したことを示す同期検出信号を出力する比較手段と、前記比較手段から出力される同期検出信号をマスクするマスク手段とを有し、前記制御手段は前記トラック情報検出手段から出力された

検出信号に応じて前記マスク手段によるマスクタイミングを制御することを特徴とする請求項１記載の再生装置。

【請求項３】

前記制御手段は、前記検出信号に応じて、前記メインデータ中の先頭の同期ブロックが入力すべきタイミングの近傍において前記マスク手段によるマスク動作をオープンとするよう前記マスク手段を制御することを特徴とする請求項２記載の再生装置。

【請求項４】

前記制御手段はカウンタを含み、前記検出信号に応じて前記カウンタのカウント値を所定値にセットすると共に、前記同期データを検出すべきタイミングにおいて前記比較手段が前記同期検出信号を出力しなかったことに応じて前記カウンタにカウント動作を実行させ、前記カウンタの値が所定値になったことに応じて前記マスク動作をオープンとするよう前記マスク手段を制御することを特徴とする請求項３記載の再生装置。